

海外経済

		2020年4月	2020年5月
世界経済		世界の景気は、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響により、急速に悪化しており、極めて厳しい状況にある。 先行きについては、 <u>感染症の影響により、景気がさらに下振れするリスクがある</u> 。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。	世界の景気は、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響により、急速な悪化が続いており、極めて厳しい状況にある。 先行きについては、 <u>経済活動の再開が段階的に進められているが、当面、極めて厳しい状況が続くと見込まれる</u> 。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。
アメリカ		アメリカでは、景気は、 <u>感染症の影響により、急速に悪化しており、極めて厳しい状況にある</u> 。 先行きについては、 <u>感染症の影響により、景気がさらに下振れするリスクがある</u> 。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。	アメリカでは、景気は急速な悪化が続いており、極めて厳しい状況にある。 先行きについては、 <u>経済活動の再開が段階的に進められているが、当面、極めて厳しい状況が続くと見込まれる</u> 。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。
アジア地域	中国	中国では、景気は、 <u>感染症の影響により、引き続き厳しい状況にあるもの</u> 、足下では持ち直しの動きもみられる。 先行きについては、 <u>感染症の影響が薄らいでいくことが期待されるが、感染症が国内外の経済に与える影響によっては、景気が下振れするリスクがある</u> 。また、金融資本市場の変動等の影響に留意する必要がある。	中国では、景気は引き続き厳しい状況にあるものの、足下では持ち直しの動きもみられる。 先行きについては、 <u>感染症の影響が薄らいでいくことが期待されるが、感染症が国内外の経済に与える影響によっては、景気が下振れするリスクがある</u> 。また、金融資本市場の変動等の影響に留意する必要がある。
	その他アジア	その他のアジア諸国・地域においては、 <u>感染症の影響により、経済活動が一段と抑制されている</u> 。 韓国では、 <u>景気は下押しされている</u> 。台湾では、 <u>景気は下押しされている</u> 。インドネシアでは、 <u>景気は下押しされている</u> 。タイでは、 <u>景気は大幅に下押しされている</u> 。インドでは、 <u>景気は大幅に下押しされている</u> 。	韓国では、 <u>景気は厳しい状況にある</u> 。台湾では、 <u>景気は減速している</u> 。インドネシアでは、 <u>景気は厳しい状況にある</u> 。タイでは、 <u>景気は極めて厳しい状況にある</u> 。インドでは、 <u>景気は極めて厳しい状況にある</u> 。
ヨーロッパ地域	ユーロ圏	ユーロ圏では、景気は、 <u>感染症の影響により、急速に悪化しており、極めて厳しい状況にある</u> 。ドイツにおいても、 <u>景気は急速に悪化しており、極めて厳しい状況にある</u> 。 先行きについては、 <u>感染症の影響により、景気がさらに下振れするリスクがある</u> 。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。	ユーロ圏では、景気は急速な悪化が続いており、極めて厳しい状況にある。ドイツにおいても、 <u>景気は急速な悪化が続いており、極めて厳しい状況にある</u> 。 先行きについては、 <u>経済活動の再開が段階的に進められているが、当面、極めて厳しい状況が続くと見込まれる</u> 。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。
	英国	英国では、景気は、 <u>感染症の影響により、急速に悪化しており、極めて厳しい状況にある</u> 。 先行きについては、 <u>感染症の影響により、景気がさらに下振れするリスクがある</u> 。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。	英国では、景気は急速な悪化が続いており、極めて厳しい状況にある。 先行きについては、 <u>経済活動の再開が段階的に進められているが、当面、極めて厳しい状況が続くと見込まれる</u> 。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

(注) 下線部は先月から変更した部分。